

TOHATSU

PARTNER

2008年7月15日発行/夏号

VOL.76



PHOTO:激流への挑戦(埼玉県秩父市)

CONTENTS

- | | | | |
|---------------------------|------|-----------------|------|
| ●平成20年特約販売店全国大会 | P2 | ●東京国際消防防災展2008 | P4~5 |
| ●日本消防ポンプ協会功労者を表彰 | P3 | ●駒ヶ根工場見学相次ぐ | P6 |
| ●駒ヶ根市で消防ポンプ操法大会 | P3 | ●リトルボート キス釣り大会 | P6 |
| ●兵庫県加東市へ「VC72PRO」5台納入 | P3 | ●リトルボート試乗会 | P7 |
| ●九州マリンフェスタ開催 | P4 | ●三好マリンで親睦キス釣り大会 | P7 |
| ●ミニボートフェスティバル2008in 船の科学館 | P4~5 | ●多機能型積載車(製品紹介) | 裏表紙 |
| ●新規需要開拓に意欲(吉野商会) | P5 | | |

好調4ストロークポンプを持続・拡大

平成20年トーハツポンプ特約販売店 全国大会開く

平成20年トーハツポンプ特約販売店全国大会が、去る4月24日・25日の両日、熱海市の「さくらや旅館」で開催され、トーハツの特約販売店全社が春たけなわの熱海に集いました。会場となった「さくらや旅館」正面では、展示した「4ストロークポンプを積載したデッキバン」及び「水槽付き多機能型車両」と共に各ブロック担当者がお客様を出迎え、歓迎の意を表しました。

大会は1時30分、トーハツ金子社長の歓迎の挨拶でスタート。



同社長は「昨年度は皆様のおかげで無事75周年を迎えることができました」とお礼を述べた後、更に、ポンプ製造部門が効率化促進のため

駒ヶ根新工場への移転が完了した旨の報告。昨年発売した環境に優しい4ストロークポンプが大好評裡に今期を迎えられたことなどに触れ、今年も販売店様との関係を更に

強固なものにして行きたい、とその決

意を述べました。この後、役員若

林営業本部長から歓迎の挨拶。

そして小山防災部長からは、前期

の業績に関する報告と今期の営

業方針を示した上で、4ストローク

ポンプが好調で前年度比115%の売り

上げ増に貢献したことなどが報告され、今後

もこの勢いを持続拡大させ可搬ポンプのシェア55%を目指すべく民間需要にアタック。防災用品の更なる拡販をお願いしたい、との要望がありました。また、技術的な報告として廣瀬技術部長からは、今期新商品VFシリーズのリモートパネル仕様の設定に関する案内、及び操法ではロングセラーのトップ機種とされる「VC

PRO」の次期後継機「PRO」が紹介されるなどあって、大きな

期待が寄せられました。

一方、恒例の「平成19年度ポンプ拡販コンクール表彰式」では、嬉しいことに今回は例年になく多くの優秀店が表彰され、功労者表彰とあいまって大いに大会を盛り上げました。大会は一旦休憩を挟んだ後再開。松原駒ヶ根工場長からポンプ部門移転後の生産現状の報告や、主要ラインの紹介なども行われました。

昨年度75周年を迎えたトーハツでは、今回オールドモデルのポンプレストア(復元)を行い昭和20年～30年製造のVF-50、VK、VHの3機種、更にランペツスポーツなどピカピカのオートバイも展示。販売店様の中には昔を懐かしむと共に、タイムスリップして若き時代に戻られた方々も多かったと推察しています。

大会第1部終了の後は、豊富な温泉にたっぷり浸かって全員上機嫌。第2部では、(株)北海道モリタ開社長の乾杯の発声でスタート。会場は弊社社員・宮川氏の玄人なみの三味線「都鳥」と芸者さんの粋な踊りとあいまって早くも最高潮。無礼講一色の会場は、メーカーや特約販売店どうし、心行くまで親交を深めました。

宴もたけなわ。三輝物産(株)・西銘社長の発声で中締めの方歳三唱。熱海の夜は、まだまだ宵の口が続きそうです。特約販売店の皆様、遠路ご出席を賜り誠に有難うございました。

(防災営業部)



社団法人日本消防ポンプ協会が
平成20年度功労者を表彰

トーハツの小泉・志津川の両氏が めでたく受賞

社団法人日本消防ポンプ協会(会長・新村 鋭男氏)の第46回定期総会と、それに伴う平成20年度の功労者表彰が、去る5月23日、業界関係者、及び来賓として招かれた消防関係者多数出席のもと、東京・信濃町の明治記念館で行われました。

定期総会に引き続き行われた平成20年度の業界功労者表彰式では、トーハツ(株)から技術部設計2課係長の小泉徳生氏、防災営業部係長の志津川真一氏の両氏がめでたく功労者賞の榮譽に輝きました。

この賞は、同協会が業界の育成を主眼として設けているもので、消防ポンプをはじめとする防災機器業界の発展に寄与した方々に授与されます。

このたび表彰された小泉徳生氏は、環境に優しい4ストローク可

社団法人 日本消防ポンプ協会
平成20年度 功労者表彰式



搬消防ポンプの開発に

携わり、地球環境へ思いやりのある製品造りの貢献が認められたもの。また志津川真一氏は、各地域における可搬消防ポンプの研修・教育、とりわけポンプ操法時の使い方などでの講習で多大の貢献が認められたものです。

受賞後この両氏は、明治記念館にある“さざれ石”のもとで再度初心に帰り、今後も業界発展のために志を新たにされたことでしょう。この度は真におめでとうございます。(防災営業部/青山)



駒ヶ根市の「第50回消防ポンプ操法大会」 トーハツ駒ヶ根工場駐車場で開催



第50回駒ヶ根市消防ポンプ操法大会、及び第25回駒ヶ根市特科技術競技大会が、去る6月15日、トーハツ駒ヶ根工場の駐車場で開催されました。晴天に恵まれたこの日、参加した消防団員は日頃の訓練成果を出し切る絶好の機会とあって全員大張りきり。熱のこもった大会となりました。

同市の消防団員は総勢600名。杉本市長、滝澤消防団長をはじめ全団員一丸となって地域防災を支えています。奇しくも前日は岩手・宮城内陸地震が発生。操法競技にも思わず現実味が加わるなど有事への心構えを新たにするとともに、大会となりました。

一方、競技は初めに救護技術競技からスタート。続いてポンプ操法、ラッパ吹奏技術競技の順で進行。各種競技に高レベルの演技が続出、大いに盛り上がった大会でした。今後は同大会を皮切りに、県大会、更に全国大会が行われますが、順次駒を進めることで、この長野県駒ヶ根市の名前を全国に轟かせるような活動を期待したいところです。なお最後に、岩手・宮城内陸地震による被災者の方々には、心よりお見舞い申し上げます。(総務部/梶原)

全国の消防団員から圧倒的な評価を頂いているトーハツ可搬消防ポンプ「VC72PRO」を搭載した固定配管積載車5台が、去る3月30日、兵庫県加東市へ納入され、それに伴う安全祈願の入魂式も同日行われました。



この度納入した積載車に「VC72PRO」の搭載は、ポンプ操法練習に熱心な同市消防団員の強い要望が実ったもので、改めて同モデルの人気の高さを示した形となりました。一方車両自体も、要望により固定配管やポン

プ下にアルミ編板を敷くなど大変凝った造りをしており、同市消防団員の意識の高さが窺えます。

トーハツ「PRO」をご採用

頂いた加東市消防関係者の皆様に厚くお礼申し上げますと共に、販売及びポンプ機装にご尽力頂いた(株)藤井ポンプ製作所の皆様には、心より感謝申し上げます。



(防災関西/山口)

兵庫県加東市へ
「VC72PRO」
5台納入

福岡西方沖地震の被災者 全員帰島の朗報で弾み 九州マリンフェスタ開催!

海の祭典「九州マリンフェスタ」が、去る4月12日・13日の両日、福岡市内の福岡マリナの展示場で華やかに開催されました。おりしも数日前、福岡西方沖地震いらい今仮設住宅暮らしを強いられていた最大の被災地・玄海島の一部島民が全員帰島との朗報が伝わり、主催者共ども勢いに弾みがついたようです。

初日は朝からあいにくの雨。しかし会場入口には時間前から色とりどりの傘の放列ができて、スタートは上々のようです。トーハツでは、この度マイナーチェンジで登場した「TF-250SC」、「MARVELOUS21 α カラーハルバージョン」の2艇に加え、今年の販売店のコンフォートさんをお願いして和船の「TFW-17(コンフォート仕様)」プラス「トレーラー」も展示しました。

コンフォートさんでカスタマイズされたこの和船、和船であって和船らしくないシンプルな艤装の中に、どこか新しさを感じさせる仕上がりで、来場者の目を釘付けにしていました。また、マイナーチェンジで登場したTF-250SC、MARVELOUS21 α の両艇も、ユーザーの予算とニーズに合わせたエンジン選択が可能とした事で大いにアピール。とりわけ左右開け閉め可能なキャビンドア&ナビシートのアクションには、ユーザーも驚きの表情を隠



せない様子でした。

一方、様々なイベント企画が催された同会場では、例えばスモールボート講座、ボートフィッシング講座、更に救助体験講座などに多くのユーザーが参加。玄海島の全島民帰島によってマリンフェスタらしい活気を取り戻したことで、九州マリン業界に明るい兆しが見えたようです。

なお、末筆になりましたが期間中応援いただいたコンフォート・楢原社長には、誌面を借りて厚くお礼申し上げます。

(マリン九州/藤川)



まだまだ
話題沸騰の

ミニボートフェスティバル2008

“ミニボートで夏をエンジョイしよう”との触れ込みで、去る5月17日(土)・18日(日)、(社)日本舟艇工業会主催による「ミニボートフェスティバル2008 in 船の科学館」が品川区にある船の科学館シーサイドプールで開催され、1,299名の来場者があり若者やファミリーで終日賑わいました。

このフェスティバルに出展したのはミニボート関連17社などで、46隻の多種多様なミニボートが勢ぞろい。会場では体験試乗と販売、乗り比べ、船外機や釣り、安全セミナーなど盛りだくさんプログラムが用意され、文字どおりマリンレジャーの醍醐味をエンジョイしていました。

夏場は流れるプールとして多くの家族連れでにぎわうシーサイドプールを利用したミニボートの体験試乗では「サイズは小さくても夢は広がるし、好きな釣りも格段に面白くなりそうなのが良く分かりました。」(男性45歳)との感想を語ってくれました。いつでも、どこでもマリンレジャーを楽しめるプロダクトとして注目を集めているミニボート。夏到来で、ますます人気沸騰しそうです。(マリン課)

「東京国際消防防災展2008」開く

死者8万とも10万人以上とも言われる中国・南西部で発生した四川大地震。国内では岩手・宮城内陸地震があり、その恐怖の余韻も覚めやらぬ中、注目の「東京国際消防防災展」が、去る6月5日



～8日までの4日間、東京ビックサイトで開催されました。

この催しは5年に1度開催されます

が、この度は中国・四川大地震の影響もあってか、延べ12万人の入場者を記録。消防・防災への関心の深さを示しました。また、これに呼応するかのよう、東京消防庁関係者による消火・救急・救命などレスキューロボットを使用した多彩な模範演技が披露され、一般入場者も真剣な眼差しで見守っていました。



“備えあれば憂いなし”

新規需要開拓に意欲を見せる吉野商会さん

“どげんかせにゃいかん”のキャッチフレーズで、いま日本中から脚光を浴びている宮崎県に、台風シーズンに備えるべくこの程トーハツで一番“旬”なエンジンと言われている4サイクルEFI船外機「MFS25B EFGL」が納入される運びとなりました。その立役者はこのところ新規需要開拓に積極的に取り組んでいる老舗トーハツ販売店の吉野商会さんです。

同店では、これまでも県下の消防関連機関に消防ポンプならぬトーハツ船外機を多数納入してきた実績を持っていますが、最近では現場の消防隊員向けに船外機の使用説明会を独自に催し、地元



の新聞にも度々取り上げられるなど信用は絶大です。

今回は、去る3月12日から14日にかけて6台の船外機を県下の主要6警察署への納入と取り扱い説明の旅に出ると言うご多忙さ。納入コースは、北は天孫降臨の地として知られる神話の里・高千穂。南は鹿児島県が目前に迫る霧島山系に囲まれた小林市まで、宮崎県を一周するに近い行程。中には船外機を初めて見る署員もいて、珍問・奇問が交わされる場面もありましたが、さすがは吉野商会・吉野社長。様々な質問にも的確に応え、署員の方々もすっかり安堵。各警察署員は“備えあれば憂いなし”と喜んでいました。

旅を終えた同社長は「取り扱い説明の点が心配だったので、実は事前に説明書やサービスマニュアルを熟読。今回の納品に備えていたんですよ」と自信たっぷり。まさに“備えあれば憂いなし”。吉野社長、大変お疲れ様でした。

(マリン九州／藤川)

08 船の科学館 開く



トーハツでは、屋外展示場に多機能型小型消防ポンプ付積載車(逆浸透膜式浄水機付き)や軽四駆積載車デッキバンタイプを展示。一方屋内展示場には、環境を重視した4ストロークポンプ「VF53AS」をはじめ、自治会向けのポンプ付き台車セットなど自慢の可搬消防ポンプ数種をラインアップ。これにトーハツ船外機、消防用品のライト類、熱画像直視装置やクーリングベストなどを加えて一堂に展示。「消防・防災のトーハツ」を幅広くアピールしました。

トーハツ・ブースを訪れた各地の消防団員や消防署関係者から「おたくのポンプ、使ってますヨ!」と挨拶がわりの嬉しい言葉を掛けられる反面、「ここを改良して欲しい」などのご意見もチラホラ。また屋外で行われたVF63ASポンプの放水実演では、多くの見学者の中から



「音が静かだね」との声が漏れたほど評価は上々。実りある4日間でした。

なお末筆ながら中国・四川大地震、そしてこの度日本国内で発生した岩手・宮城内陸地震で亡くなられた多くの方々のご冥福をお祈りすると共に、両被災地の方々には衷心よりお見舞い申し上げます。

(防災中央／志津川)

特約販売店 東京物産(株) / 福島県塙町消防団など

相次ぎ駒ヶ根工場を見学

東京・埼玉を販売エリアに持つトーハツ特約販売店の東京物産(株)ご一行11名が、去る6月13日、研修旅行を兼ねて長野県のトーハツ駒ヶ根工場を見学のため来訪。翌14日には福島県塙町の消防団員ご一行60名が、2台のバスに分乗して相次ぎ来訪。両ご一行とも出迎えた松原工場長をはじめトーハツスタッフから大歓迎を受けられました。

まず13日来訪された東京物産(株)ご一行は、さっそく係員の説明で同工場の概要や写真を基に全体像を把握して貰うことから見学がスタートしました。

この日のコースでは、トーハツマリン(株)の組立てライン、TDC、パーツセンター、運転場など主要部門を中心に充実した最新設備や生産工程などを見学。またポンプ運転場では、トーハツを定年退職された同運転場の先輩が4ストローク・ポンプ「VF63AS」の運転を自ら行いましたが、その手際の良さは運転場の現役係員も舌を巻く程の往年ぶりに全員びっくり。このエコポンプVF63ASの性能は、ユーザーからも大変高い評価を頂いている一方、一部改善して欲しいとの要

求は、ユーザーからも大変高い評価を頂いている一方、一部改善して欲しいとの要



望もあり、トーハツも厳粛に受け止めています。

見学後は質疑応答を交えながら工場

関係者と意見を交換。おかげで沢山の有意義な声を頂け、同時に大いに絆も深まりました。この後ご一行は、再びバスに乗り込み次の目的地へと旅立って行かれました。

さて翌日14日、福島県塙町から来訪された消防団ご一行60名は、旅の疲れも見せず早々に研修ホールで工場の概要説明を受けられた後、バスで駒ヶ根工場へ移動。同工場・鈴木課長の案内で生産エリアなどを見学されました。同消防団ではトーハツポンプを使用している関係で、とりわけ構造面に 관심이集中。質疑が活発に交わられました。

気分もほぐれリラックスしたところで、ご一行は運良く検定待ちしていた数十台の消防ポンプをバックに記念撮影。また試運転場では、完成したばかりのNewポンプや4サイクル消防ポンプを団員自らの手で試運転してみる実体験も実施。多くの団員が、エンジンの静粛さとリコイルスタータの軽快さにびっくり仰天していたのが印象的でした。

最後に、遠路にもかかわらずご来訪頂いた東京物産(株)、並びに福島県・塙町消防団員の皆様には厚くお礼申し上げます。
(防災中央/田中)



“キス釣り世界一王者決定戦” リトルボート恒例のキス釣り大会

いまや福井地方の夏の風物詩ともなったリトルボート販売主催のボー研隊キス釣り大会が、今回は「キス釣り世界一王者決定戦」と銘打って去る6月15日、若狭湾一帯の海域で行われました。主催者が「世界一王者決定戦」と自慢するだけあって、西は九州、東は関東からのエントリーもあり、全エントリー艇数132艇、214名が参加。しかも各艇には、それぞれ工夫を凝らした秘密兵器が艦装され、もちろんポイントは先刻調査済みとか。

午前7時、合図と共に大会基地・鯉川シーサイドパークを一斉にスタート。全132艇が一斉にポイントへ出走する光景は、まさに圧巻。天気良好、穏やかな若狭の海にボー研隊の一大バトルが展開されました。

今年は例年より幾分水温が低いためか餌の喰いが悪く、各釣り師とも思わぬ苦戦を強いられたようで、午前11時の計量には渋い表情の面々が多く並びました。しかし型

はまずまずで、今回の長寸1位は27.6cm。例年に比べやや小ぶりでした。重量では1位が2,850g。ちなみに外道の部1位はマゴチで54.2cmでした。次回も気分を新たに頑張りましょう。大会運営に奔走されたリトルボート販売・田原代表、大変お疲れ様でした。

(マリン関西/福松)



秘話 “リトルボート試乗会”…裏方の記

今年2回目のリトルボート試乗会が、去る6月7日・8日の両日、大阪は忠岡町のマリナブレイで開催されました。今回はちょっと趣向を変えてスタッフのお話です。

この試乗会にはたくさんのスタッフがいます。リトルボート販売からは代表の田原氏と石原君。そして外浜さん。ゴムボートのアキレスにジョイクラフト。アカショットにジェイモさん。それに当社スタッフです。

準備は金曜日からはじめます。まず堺市のお店からマリナまでミニボートを運びます。毎回10隻以上のミニボートをだすため運搬は大変です。5台以上の箱パン全てに荷物満載状態です。

準備は大仕事、体力勝負です。なにせ2m程の防波堤を超えて荷物を運び込むのです。そこをテント、長テーブル、椅子、看板ゴムボート、船外機などをスタッフが力をあわせて運び込みます。ここ何年かは同じ顔ぶれなので気心も知れ、和気あいあいと準備します。

ひととおり運び込むと田原氏は近くの漁港へ。田原氏の弁慶は当社20馬力を載せた丸ハンドル仕様。このクラスのボートを運び込むのは到底できません。その間他のスタッフは会場の設営をします。頃あいを
見計らい、船舶免許持ちの人は田原氏のいる漁港へ。ここで田原氏はヒッチクレーンと呼ばれるもので、運び込むのが大変なボ



ートを下ろす準備をしています。毎回ここで約3隻のボートを下ろしマリナへ回航します。

土曜日は9時集合。残りの準備を進めます。試乗会は10時からですが、気の早いお客さんは9時過ぎには来ます。あわただしい試乗会の始まりです。

“見て・触れて・乗って決める確かな一艇”が心情の当社の試乗会。しかしなかなかお客さんの心は決まりません。なにせ10数隻のミニボートに乗るのです。自的や運搬方法、趣向等の相談を受けながらです。「どれがいい?」とよく聞かれますが、非常に困る質問です。同じようなボートでもそれぞれ個性があります。特に桟橋では他のメーカースタッフがいますから、おいそれと下手なことは言えません。当社はエンジンメーカー、ボートメーカーさんとの付き合いもあるからです。

そんなこんなで土・日をこなし、日曜の試乗会終了後には当然撤出作業が待っています。スタッフみんなが力を合わせて運び出します。最後にボートは再び漁港を回航。引き上げたところで一時解散です。そしてお店へ戻り、荷物を下ろし、試乗会は終わりです。

今回は2日間で100名以上のお客さんがこられ、大盛況の試乗会でした。今後も当社はリトルボートに協力し、共に発展したいと願っています。

(マリン関西/福松)



愛媛県の

三好マリンで親睦キス釣り大会

6月恒例の愛媛県・三好マリン主催による「第14回親睦キス釣り大会」が、去る6月22日、梅雨空のなか同県四国中央海域一帯で行われました。この日参加した太公望は約30名(ボート20隻)。雨中の厳しいコンディションでしたが、さすがは海を知りつくした釣り師たち。確実に大物をゲット、余裕のあるところを見せていました。

恒例により正午定刻には、全員納竿。いよいよ待望の検寸です。今回も大物揃いの大漁とあって検寸はミリ単位の攻防で展開。数字が発表される度にしばし騒然。会場は参加者の一喜一憂する興奮に沸きかえっていました。

さて興奮が収まった後は、お楽しみの表彰式と豪華賞品が当たるビンゴゲーム。そして最後はみんな仲良く記念撮影。参加者の大半がトーハツの

ユーザーとあって和気あいあい、次回の健闘を誓い合っていました。

大会を主催された同マリンの三好社長様をはじめ、参加者の皆さん大変お疲れ様でした。

(マリン関西/福松)

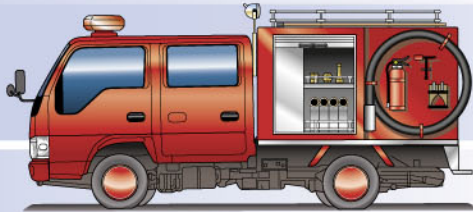


〔製品紹介〕

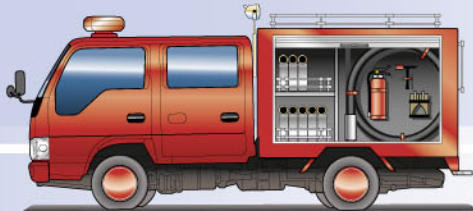
トーハツ多機能型積載車

【基本スペック】 ベース車輛……ダブルキャブ 1.5～2.0t (1型-1～1.5t)
搭載ポンプ……トーハツ消防ポンプ B2級～B3級
ポンプレール…TWL-2型 1本
吸水管……75mm×6m×1本
後部収納庫……ホース棚10本～15本 消防付属品数点 投光器
発電機 三脚 等を収納可能

1型 標準積載車



2型 資機材積載車



■シャッター付大型収納スペースに多種の資機材を収納可能



3型 水槽付固定配管積載車



- FRP製 650リットル水槽を搭載
 - 固定配管による両サイドでの放水が可能
 - 逆浸透膜式浄水機が取付可能 *
 - 強力1000w の車載式照明灯 *
 - 車両全周の照明に最適なバルーン投光器 *
- ※オプション設定



発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢3-5-4
TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090
トーハツ株式会社
トーハツパートナー編集局
編集兼発行責任者 若林 弘/小山 将